

Date / 会期

December 20th, 2014 (Saturday)

概要 /

X線や中性子による溶液散乱は、サブナノ～マイクロに及ぶ広域な構造情報が取得できる計測手法であり、生体高分子やソフトマターといった階層性を帯びた分子システム研究に必須の解析ツールです。タンパク質に代表される生体高分子については、実験手法だけでなく解析手順についても整備が進み、ここ数年で論文投稿時におけるガイドライン制定やデータベース登録など、国際標準化の波が急速に押し寄せつつあります。国際的認知度や研究力を強化するためにも、分子システム研究の底上げを通じてコミュニティとしての体制を強化することが求められています。本研究会では若手を中心に国内の主要な研究者を集め、分子システム研究課題の発掘、サポート体制、溶液散乱実験技術の将来構想などについて議論します。

Venue / 会場

Institute for Molecular Science (Myodaiji Campus, Reserach Building, Room 201)
分子科学研究所 明大寺キャンパス 研究棟 201 号室

Registration

/ 参加登録

Free but required.

無料ですが必須です。

Organizers

/ 世話人

Shuji AKIYAMA (IMS/CIMoS, Japan)

秋山 修志(分子科学研究所)

Hironari KAMIKUBO (NAIST, Japan)

上久保 裕生(奈良先端科学技術大学院大学)

Masaaki SUGIYAMA (Kyoto Univ, Japan)

杉山 正明(京都大学)

Mamoru SATO (YCU, Japan)

佐藤 衛(横浜市立大学)